

池田湾をのぞむ斜面に高さ約5mの桜の幼木が植えられた—小豆島町池田
桜が満開の城山でロケされた電車ごっこのシーン—「二十四の瞳」 ©1954松竹株式会社



銀幕の城山桜 もう一度

ロケ地・小豆島 植樹や記念碑

かつて小豆島の桜の名所だった城山（小豆島町池田、113
号）の復活を目指し、ボランティア約50人が24日、桜を植樹し
た。映画「二十四の瞳」で高峰秀子が教え子と電車ごっこをして
遊んだシーンのロケ地となった場所でもあり、町のシンボルだ。
3月10日には、ロケ地を記念する石碑の除幕式が行われる。

城山は昭和40年代まで桜
の名所で、ござと弁当、酒
を抱えた島民がごぞつて登
り、花見客で夜までにぎわ
った。だが島民の高齢化と
車社会が進んだ昭和60年代
には花見が廃れ、山は荒れ
ていった。

ロケ地にもなった山が荒
れるのを見かねた地元の有
志約30人が3年前、城山保
存会（萩本昌平会長、45
人）を立ち上げた。小豆島
町とNPO法人瀬戸内オリ
ーブ基金、パナソニックな
どから支援を受け、これま
でにサクラ18本とツツジ80
本を植え、遊歩道を整備し
てきた。

今回は城山保存会と企業
OBのボランティアが朝9
時ごろから、開墾した耕作
放棄地にソメイヨシノ30本
と、「二十四の瞳」を撮影

した木下恵介監督の生誕地
・静岡県浜松市から贈られ
たカンザンシザクラ8本を
植えた。保存会事務局長の
高本博文さん（73）は「5
年、10年後を楽しみにやっ
てきた。花見のころには、
ぼんぼり約100個をつる
し、かつてのにぎわいを取
り戻したい」と夢を膨らま
せた。二十四の瞳映画村の
有本裕幸さん（50）は「撮影
から60年近くなった今で
も、電車ごっこの場面は印
象深い。地域のみなさんが
今も大切にしてくれる気持
ちに感謝したい」と話した。

「二十四の瞳」は195
4年に上映された木下監督
の代表作のひとつ。生誕1
00年を記念して、今年6
月には実話を描いた映画
「はじまりのみち」が公開
される。（佐久間泰雄）

立て札看板設置状況

設置日：平成25年2月24日

